

令和2年度第1回津市地域公共交通活性化協議会に係る書面決議
の結果について（報告）

令和2年度第1回津市地域公共交通活性化協議会に係る書面決議の結果は
下記のとおりでした。

記

1 議題

- ・令和元年度事業報告及び収支決算報告について
- ・令和2年度事業計画（案）及び予算（案）について
- ・津市地域内フィーダー系統確保維持計画について

2 異議の有無

- ・異議なし 20名
- ・異議あり 0名
- ・表明なし 0名

3 意見等

別紙のとおり

4 結果

了承

令和2年6月18日

津市地域公共交通活性化協議会

会長 松本 幸正

各議題に対していただいた意見等について

議題	意見等	事務局補足説明
令和元年度事業報告及び収支決算報告について	特になし	
令和2年度事業計画(案)及び予算(案)について	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の環境整備費とは？ ・乗降調査費の減額は昨年度実績に基づくものでしょうか？ ・前年度差引額2,249円は、本年度へ繰越にならないのですか？ ・令和2年度予算は新規事業のため？ 	<p>第2次津市地域公共交通網形成計画の一事業として実施予定の自主運行バス(廃止代替バス)の見直し及び津市コミュニティバスの再編(以下「コミュニティバス等の再編」という。)に係る停留所の設置や時刻表の更新など、新たな路線での運行環境の整備に活用する予算です。</p> <p>予算については、見積価格を基にコミュニティバス等の再編に伴う対象路線の減少を考慮し積算していますが、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、調査時期、回数及び対象路線の変更を予定しています。</p> <p>予算残額は、津市に戻入することとなっています。</p> <p>令和2年度の協議会運営費、公共交通の利用促進に関する事業費として支出を予定しており、上記のコミュニティバス等の再編に伴い実施する事業への支出も含まれます。</p>
津市地域内フィーダー系統確保維持計画について	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の第3者評価での意見をどう反映していますでしょうか？ ・令和2年度の利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により減少傾向にあると思われるが、そうした状況をふまえ、目標値を設定する必要があるのでしょうか？ ・各地域に入って意見を聴取するなど、地域の意見を聞く機会をつくるべき。 ・収支採算が取れない地域では、民間企業の協力は期待できないと思います。このような地域は公的支援が必要で、少しでも有益な国、県の補助金等の活用を望みます。 	<p>第3者評価委員会にて、地域間幹線の維持改善が最重要課題であるとの提言があったことから、引き続き地域間幹線の利用促進に係る広報活動及び主要な駅や停留所での接続に合わせたダイヤの見直し等に取り組みます。</p> <p>なお、コミュニティバス等の再編の際にも、地域間幹線との接続を意識した路線及びダイヤの設定に努めます。【参考資料】</p> <p>当該計画の対象期間(令和2年10月から令和3年9月)については、新型コロナウイルス感染症が収束しているものと仮定し、目標値の設定をしています。</p> <p>実施予定のコミュニティバス等の再編に関して、昨年度から順次各地域において、あり方検討会や説明会を開催し、地域の利用者の意見の反映に努めています。</p> <p>津市コミュニティバスは、地域特性に応じた最適な生活交通ネットワークの維持確保を目的として地域内バス交通等の運行を支援する補助制度(地域公共交通確保維持改善事業費補助金)を活用しています。この補助を受けるためには、協議会での議論を経て作成した「地域内フィーダー系統確保維持計画」の認定申請を行う必要がありますので、今回、第1回協議会の議題4(【資料4】)として委員の皆様にご意見を伺うことについて御審議いただきました。</p>